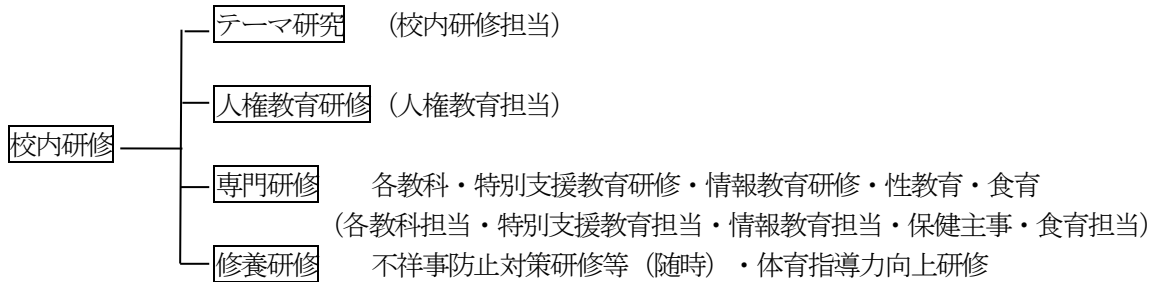


## 7 令和8年度 校内研修全体計画

### 1 研修の内容及び時間

#### (1) 研修内容 ( ) 内は担当者



#### (2) 研修時間 15:05～16:20

※ 最初の10分間は見つめる会を行う。

※ 授業研や講師招聘の際は16:25までとする。

※ 長期休業日の校内研修については、別途計画する。

### 2 テーマ研究

#### (1) 研究主題

**進んで考え、表現する児童の育成**

～探究的な学びの学習過程を意識した授業づくりを通して～

#### (2) 研究主題設定の理由

##### ア 教育の今日的課題から

今日、技術革新や情報化によって我々を取り巻く生活環境、社会環境は急速な変化を続けている。このような予測できない社会を生きていく児童には、社会や他者の多様性を受け入れながら、様々な情報を取捨選択し、再構築し、新しい価値につなげたり、個性を生かして多様な人々と協働したりする力が求められている。また、単に新しい知識を増やすだけでなく、自ら課題を見つけ、学び方を身に付け、自ら得た知識を活用していく力とともに、更にそれを生活や社会に生かそうとする態度を育てていくことが重要になってくる。

そこで、研究主題を「進んで考え、表現する児童の育成」と設定することで、課題に主体的に取り組み、自分の考えを持ち、他者と表現し合うことで新たな価値を見つけ、社会の変化に対応する力を身につけたいと考えた。

##### イ 本校の教育目標から

本校では「夢を育み、ともによりよい明日を創造する児童の育成」を教育目標に掲げ、目指す児童像を「自分事として課題を持ち、積極的に関わろうとする児童」「自分のよさを発揮し、互いに協力しながら問題を解決しようとする児童」「学習したことを活かし、よりよく過ごすことができる学級・学校・地域を創ろうとする児童」とし、その具現化に向けて日々教育活動に取り組んでいる。

学校教育目標と目指す児童像の具現化のためには、主体的・対話的で深い学びの中で、児童一人一人が学ぶことへの意欲を高め、課題に対する自分の考えを持ち、その解決のために他者と対話することが大切であると考える。このことから、本研究は本校の教育目標につながるものとする。

#### (3) 研究主題の捉え方

##### ○「進んで考える児童」について

課題に対して「解きたい」「考えてみたい」「もっとやりたい」という姿勢をもち、自ら課題を見つけ解決していく姿と捉える。

##### ○「進んで表現する児童」について

自ら考えたことを、文字や言葉、式、図などを通して進んで表現し、他者へ伝えるようとする姿と捉える。

##### ○「探究的な学びの学習過程」とは

文部科学省によると「探究的な学習」とは、①「課題の設定」学習者が自らの興味や疑問に基づいて課題を設定する。②「情報の収集」課題に関連する情報を収集する。③「整理・分析」収集した情報を整理、分析して思考する。④「まとめ・表現」分析結果をまとめ、表現する。⑤「振り返り・改善」とある。

少子高齢化やAI社会の到来など、私たちを取り巻く社会は急速に変化している。そうした時代のなかで、正解のない問いに対して「考え抜く力」や「他者と協力する力」、そして「失敗しても立ち直る力」など、非認知能力が求められるようになってきた。これからの社会で生き抜くための「非認知能力」を育てる手段として、総合的な学習の時間だけでなく、全教科において取り入れることが重要とされている。

#### (4) 研究の仮説及び視点

##### 仮説1

探究的な学びの学習過程に焦点をあてた授業を行えば、自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的に考え、表現するなど、自ら学びをデザインするようになり、進んで考え表現する児童の育成につながるであろう。

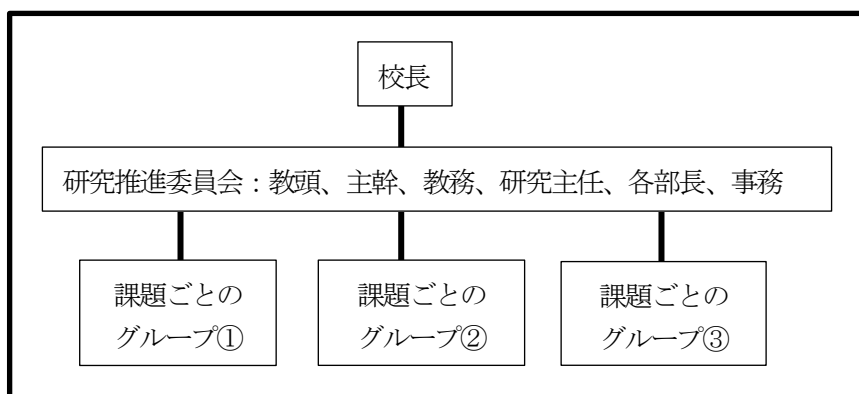
- (視点1) 課題設定の工夫
- (視点2) ICT 活用の工夫
- (視点3) 個別最適な学び・協働的な学びの工夫
- (視点4) まとめ・表現の場の工夫
- (視点5) 振り返りの方法・活用の工夫

##### 仮説2

児童が学びを表現する環境を工夫すれば、児童が安心して学習に取り組むことができ、学びに対する意欲や学んだことを表現する意欲が高まり、進んで考え表現する児童の育成につながるであろう。

- (視点1) 「北小学びの5項目」による学習規律の徹底
- (視点2) 振り返りの視点の共通実践「わがやはすてき」

### 3 研究組織



# 令和8年度 菊陽北小学校 研究構想図

## 未来を拓く「探究的な学び」のカタチ

### 校内研究テーマ

「進んで考え、  
表現する児童の育成」  
～探究的な学びの学習過程を  
意識した授業づくりを通して～

### 学校教育目標

夢を育み、ともに  
よりよい明日を創造する  
児童の育成

### 菊陽町教育目標

陽光「さん」と  
輝く人材を育む  
～前途浮々 夢を育み 未来輝く  
人材の教育は補助の力～



### ⑤ 振り返り・改善

学習内容だけでなく「学び方」  
についてもリフレクションを  
行い、メタ認知力を高め、次の  
課題へと繋がります。



### ③ 整理・分析

集めた情報を比較・分類し、  
対話を通して自分の考えを  
更新・精緻化していきます。



### ① 課題の設定

子どもたちが自らの興味や  
疑問に基づき、「解きたい」  
「考えてみたい」と思えるリ  
アルで必然性のある課題を  
立てます。



### ④ まとめ・表現

分析した結果を、他者に  
伝わるように言葉、図、式、  
スライド等を使って構築  
します。



### ② 情報の収集

ICT端末(タブレット)等を  
活用し、課題解決に必要な  
情報を多様なソースから  
収集します。

児童の学び方の獲得

### 人権教育

全ての教育活動の基盤であり、他者  
を尊重し、安心して学び合える集団  
づくりの根底となる精神です。

### 児童の実態

学力調査や寛識調査の結果に基づき、  
子どもたちの強みや課題を的確に捉え、  
指導の出発点とします。